

11-3 貴館の学校教育との連携体制や連携状況について、以下の項目毎にお答えください。

(2) 設定している実習期間は何日間ですか。

() 日間

12. 広報・出版活動について

12-1 館の紹介や展示・教育普及活動の案内等、貴館では広報活動をどのように実施していますか。平成25年度の実施状況(予定を含む)について、以下の項目毎にお答えください。

項目	実施状況	項目	実施状況
1 学校への巡回による担当者面会	1. している 2. していない	1 友の会や後援会等の団体を通じた広報	1. 行っている 2. 行っていない
2 学校教諭職員を連携担当者として配置	1. している 2. していない	2 学校へのポスター、チラシの配布	1. 行っている 2. 行っていない
3 教育委員会と連携した学校連携委員会を実施	1. している 2. していない	3 学校や教員の会議等において行つての説明	1. している 2. していない
4 展示や教諭書等の対応状況を整理したものと教員向けに公表	1. している 2. していない	4 社会教育部隊や各種団体へのポスター、チラシの配布	1. している 2. していない
5 常設展覧会の教育プログラム(授業案・ワークシート等)	1. している 2. していない	5 地方公共団体の活動計画への掲載	1. している 2. していない
6 を有成 「学習指導要領」に沿った教育プログラム(授業案・ワークシート等)	1. している 2. していない	6 個人へのダイレクト・メール	1. している 2. していない
7 等) を作成	1. している 2. していない	7 新聞広告	1. している 2. していない
8 総合的な学習を念頭に置いた教育プログラム(授業案・ワークシート等)を作成	1. している 2. していない	8 各種交換機関での広告(車内広告、駅構内広告等)	1. している 2. していない
11-4 貴館の学校との連携や学校教育との関係について、以下の項目毎にお答えください。		9 プレスへの広報資料(新聞・雑誌、テレビ・ラジオ・インターネット等)	1. している 2. していない
※小・中・高等学校段階の学校あるいは学校教育を念頭にお答えください。		10 ウェブサイト(ホームページ)による広報	1. している 2. していない
1 授業の一環として児童・生徒が実験すること	1. よくある 2. 時ある 3. ない	11 メールマガジン等電子メールを中心とした広報	1. している 2. していない
2 遠足や学年行動等の行事として、児童・生徒が実験すること	1. よくある 2. 時ある 3. ない	12 ブロガー向け内報会員参加型メディアを活用した広報	1. している 2. していない
3 聞講や発表の一環として、児童・生徒が実験すること	1. よくある 2. 時ある 3. ない	13 TwitterやFacebook等SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を使った広報	1. している 2. していない
4 学芸部職員が博物館で児童・生徒を指導すること	1. よくある 2. 時ある 3. ない		
5 学芸部組織が学校に出向いて児童・生徒が指導すること	1. よくある 2. 時ある 3. ない		
6 学芸部職員が、来館のため事前のオリエンテーション(説明会や下見)への出席等)を行うこと	1. よくある 2. 時ある 3. ない		
7 教員が会議や講習会を開くこと	1. よくある 2. 時ある 3. ない		
8 教育委員会等が行う教員研修と連携して館が事業・活動を行うこと	1. よくある 2. 時ある 3. ない		
9 教科書や図書を貸し出すこと	1. よくある 2. 時ある 3. ない		
10 贈り物や学生が連携して博物館を利用した教育実践について研究を行うこと	1. よくある 2. 時ある 3. ない		

11-5 貴館の大学等(大学・短期大学・専門学校や研究機関)との連携状況について、以下の項目毎にお答えください。

項目	実施状況	項目	実施状況
1 大学等からの博物館実習生の受け入れ	1. よくある 2. 時ある 3. ない	1 無償のニュースリーフレット	1. している 2. していない
2 大学等からのインサーンの受け入れ	1. よくある 2. 時ある 3. ない	2 会費・講師料等を必要とする定期刊行物	1. している 2. していない
3 大学等の教育(博物館実習を除く)に学芸系職員が参画すること	1. よくある 2. 時ある 3. ない	3 「メールマガジン」「ブログ」等ウェブ上の普及誌	1. している 2. していない
4 共同研究や大学院生の研究に博物館が活用されること	1. よくある 2. 時ある 3. ない	4 新報・年報	1. している 2. していない
5 共同研究を実施すること	1. よくある 2. 時ある 3. ない	5 研究会概要・研究論文が掲載された直報・年報を含む	1. している 2. していない
6 展示や施事等を共催すること	1. よくある 2. 時ある 3. ない	6 外部出版社から発行される報書	1. している 2. していない
7 展示や調査研究のための原本を貸借すること	1. よくある 2. 時ある 3. ない		

◎1.1～5の1(大学等からの博物館実習生の受け入れ)の「1. よくある」「2. 時ある」の回答欄への質問

11-5-1 博物館実習生の受け入れ状況についておうかがいします。

(1) 平成25年度の受け入れ人数(予定を含む)は何人ですか。 () 人

12-1 上記(12-1)の広報手段のうち実施してみて効果のあった取組は、どれですか。
※効果のあった順に三番目まで選び、該当する番号をご記入ください。

＜効果があった取組 上位3ヶ所

最も効果のあった 取組(番号)	二番目に効果のあった 取組(番号)	三番目に効果のあった 取組(番号)
--------------------	----------------------	----------------------

12-2 貴館では、現在、以下の伝媒誌・刊行物を作成・刊行していますか。

※発行者が「友の会」等の団体以外の組織であっても、貴館が編集しているものであれば、

「1. している」とお答えください。

項目	作成・刊行状況
1 無償のニュースリーフレット	1. している 2. していない
2 会費・講師料等を必要とする定期刊行物	1. している 2. していない
3 「メールマガジン」「ブログ」等ウェブ上の普及誌	1. している 2. していない
4 新報・年報	1. している 2. していない
5 研究会概要・研究論文が掲載された直報・年報を含む	1. している 2. していない
6 外部出版社から発行される報書	1. している 2. していない

◎上記（12-2）の広報誌・刊行物のうち、以下の3点のいずれかを作成・刊行している

館への質問
12-2-1 平成2.5年度の広報誌・刊行物の作成・刊行の頻度、作成・刊行部数(予定を含む)等をご記入ください。

※作成・刊行していないものは、「0」をご記入ください。

※メールマガジン等の登録形式のものは、最新の登録者数をお答えください。

項目	作成・刊行頻度	備考・形態部数 登録者数
1 無償のニュースリーフレット	毎月/年	部
2 会報・講師紹介等を必要とする定期刊行物	毎月/年	人
3 メールマガジン(ブログ)等ウェブ上の普及	毎月/年	人

12-2-2 以下の広報誌・刊行物について、ウェブサイト(ホームページ)での閲覧が可能かどうかについてお答えください。
※作成・刊行していない場合は、「3. 未作成・未刊行」を選んでください。

項目	ウェブサイトでの閲覧	操作・形態部数
1 無償のニュースリーフレット	1. できる	2. できない 3. 未確認・未判断
2 会報・講師紹介等を必要とする定期刊行物	1. できる	2. できない 3. 未確認・未判断
3 館報・年報	1. できる	2. できない 3. 未確認・未判断
4 研究紀要(研究論文が掲載された論録・年報を含む)	1. できる	2. できない 3. 未確認・未判断

◎「1. ある」の回答館への質問

13-1-1 「友の会」の会員数及び会費についてご記入ください。

※会費に隔がある場合は、標準的な金額(例:個人会員の場合は大人、団体会員の場合は加入するに当たって必要な最小の会費)を年間の会費でご記入ください。

13-1-2 貴館の「友の会」の類型についておうかがいします。以下の類型のうち貴館の状況に最も近いものに一つ○をつけてください。

- 会員が博物館を利用して自主的に学習活動を進めための組織
- 会員が博物館の事業を会員の労力によって支援する組織
- 博物館が実施する教育普及事業に系統的に参加するための登録制度
- 博物館を継続的に利用してもらうための登録制度

13-1-3 貴館の「友の会」の運営に当たって、「友の会」の会員と館のどちらが主体になっているかについておうかがいします。貴館の状況に最も近いものに一つ○をつけてください。

- 館よりも友の会会員が主体になって運営している
- 友の会会員よりも館が主体になって運営している
- 友の会と館の双方で運営しており、どちらが主体になっているとは言えない

13-1-4 貴館の「友の会」は、法人格をもつ組織でしょうか。

- NPO法人
- NPO法人以外の法人
- 法人格のない任意団体

)

13-1-5 貴館の「友の会」はどのような活動をしてていますか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)

1. 6. に該当する場合は、その内容を()内にご記入ください。
1. 博物館の行事への協力
→ 具体的に()
2. 上記1.以外の博物館の活動への支援・補助
3. 会報の発行
4. 学習会・見学会等(日帰り)の実施
5. 学習会・見学会等(宿泊を伴うもの)の実施
6. その他
→ 活動内容()
- 13-1-6 「友の会」会員の特典についておうかがいします。特典として該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)

1. 常設展への無料・割引入館
2. 特別(企画)展への無料・割引入館
3. ミュージアム・ショップ販売品の割引
4. レストラン、カフェでの割引
5. 会報の受頒
6. 館の行事への優先参加
7. 館の施設・設備の優先利用
8. その他()

14. 後援会・協力会について

14-1 貴館には、「後援会」、「協力会」がありますか。
※後援会・協力会は、館の運営を財政的に援助、または館の活動を援助・協力するための組織です。
※後援会・協力会は、館への援助・協力するものや館への援助・協力するための組織です。
を含みます。

- ある(「友の会」と別組織)
- ある(「友の会」と同一組織で、館への援助・協力を実施)
- ない → 15-1へ

▼

④「1. ある(「友の会」と別組織)」の回答館への質問

14-1-1 会員の数についておうかがいします。
※複数の会がある場合は、すべての会員と団体会員の合計数をご記入ください。

- 個人会員()人
- 団体会員()団体

21

◎「1. ある（「友の会」と別組織）」「2. ある（「友の会」と同一組織）」の回答館への質問

14-1-2 優待会・協力会からどのような援助・協力を受けていますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

- 1. 運営経費に対する援助 2. 資料収集・保存活動に対する援助・協力
- 3. 調査研究活動に対する援助・協力 4. 展示活動に対する援助・協力
- 5. 教育普及活動に対する援助・協力 6. 広報活動に対する援助・協力
- 7. その他（ ）

15. ボランティアについて

15-1 嘉賞館では、現在、ボランティアを受け入れていていますか。
※「ボランティア」は、博物館活動における無償の奉仕活動を行なう者です。無償には、交通費等参加に要する経費の差賀額程度を支給する場合を含みます。

- 1. いる ↓
- 2. いない → 16-1へ

◎「1. いる」の回答館への質問

15-1-1 ボランティアを受け入れる際の基準を定めていますか。
1. 定めている ↓
2. 定めていない → 15-1-3へ

◎「1. 定めている」の回答館への質問

15-1-2 ボランティアを受け入れる際の基準としているのは、どのような事情ですか。
1. 年齢
2. 居住地や勤務地
3. 「友の会」の会員であること
4. 講習会に参加していること（これから参加することを含む）
5. ある程度の専門的な知識や経験を有していること
6. 一定の期間、または期日、活動できること
7. 活動に対して熱意をもつていていること
8. その他（ ）

15-1-3 現在、ボランティアとして活動されている方の総人數（ボランティア総数）と
そのうちの学生・生徒数と60歳以上の者の人数（内数）を、性別毎にお答えください。

項目	ボランティア総数	学生・生徒数（内数）	60歳以上の者（内数）	項目	項目	項目	項目
1 男性	人	人	人	1 資料の保管	1. している	2. していない	1. している
2 女性	人	人	人	2 資料の交換	1. している	2. していない	1. している

15-1-4 嘉賞館のボランティアの活動内容についておうかがいします。現在、ボランティアが行っている活動について該当するものへべてに○をつけてください。（複数回答）
※活動内容は、館の活動を補助する業務として行われているものの他に、ボランティアが主体的に企画・運営している活動を含めてお答えください。

1. 学芸業務（展示、資料の収集・整理・保存、調査研究に關わる業務）

2. 来館者接待（展示の看板、受付案内、会場整理、障害者の介添え等）

3. 展示案内、説明、解説（展示ガイド等）

4. イベント企画、「友の会」や「後援会・協力会」の業務、広報活動

5. 標本整備（館内外の漁獲、館内の美化等）

6. 事務（一般事務の補助、刊行物の発送作業等）

7. その他（ ）

15-1-5 ボランティアに対して支給又は負担しているものすべてに○をつけてください。（複数回答）

支給又は負担しているものすべてに○をつけてください。（複数回答）

1. 交通費 2. 食事（現物支給又は食費の負担）

3. ユニフォーム（貸与を含む） 4. ポランティア保険加入費

5. その他（ ）

15-1-6 前としてボランティアの養成・研修を実施していますか。受入れ前の養成研修、受入れ後の研修に分けてお答えください。

項目	養成・研修の実施状況
1 受入れ前の養成研修	1. 実施している 2. 実施していない
2 受入れ後の研修	1. 実施している 2. 実施していない

16. 部外連携・交流について

16-1 嘉賞館では、国内の他の博物館と連携・協力することがありますか。

1. ある ↓
2. ない → 16-2へ

◎「1. ある」の回答館への質問

16-1-1 連携・協力事業の主体となっているのは自館でしょうか、それとも他の博物館（相手先館）でしょうか。以下の中から最も近いものに一つ○をつけてください。

- 1. 自館が主体となつた連携・協力が多い
- 2. 相手先館が主導となつた連携・協力が多い
- 3. 自館や相手先館ではなく、館の設置者が主導となつた連携・協力が多い
- 4. 第三者（マスコミ等）が主導した連携・協力が多い

16-1-2 連携・協力の内容についておうかがいします。以下の項目毎に、嘉賞館の現在の実施状況をお答えください。

項目	項目	項目	項目	項目
1 資料の保管	1. している	2. していない	1. している	2. していない
2 資料の交換	1. している	2. していない	1. している	2. していない
3 展覧会の共同実施	1. している	2. していない	1. している	2. していない
4 館同士の共同研究（館員の個人レベルの共同研究除外）	1. している	2. していない	1. している	2. していない
5 学芸系職員の派遣・受け入れ	1. している	2. していない	1. している	2. していない
6 共同出版	1. している	2. していない	1. している	2. していない
7 イベントの共催	1. している	2. していない	1. している	2. していない
8 職員の合宿研修	1. している	2. していない	1. している	2. していない